

小牧市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	急性胆管炎におけるセフメタゾール非感受性菌による菌血症リスク因子の検討 (231006)
当院の研究責任者 (所属)	大西 克浩 (薬 局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>本邦では、非重症例の急性胆管炎に対して、推奨抗菌薬の一つであるセフメタゾールが経験的に使用されていますが、急性胆管炎患者から採取された血液や胆汁からセフメタゾールが効かない細菌をしばしば検出することがありますが、どのような患者様でセフメタゾールが効かない細菌が検出されやすいのかということはわかっておりません。</p> <p>本研究は、急性胆管炎患者から採取された血液からセフメタゾールが効かない細菌が検出されるリスク因子について明らかとすることを目的としています。</p>
調査データ該当期間	2019年4月1日から2023年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん</p> <p>当院で、2019年4月以降に急性胆管炎にて入院した患者さんを対象としています。</p> <p>なお、18歳未満の患者さん、入院時に血液培養という検査を実施しなかった患者さん、胆石や腫瘍由来以外が原因の胆管炎の患者さんは対象外としています。</p> <p>●利用する情報</p> <p>3か月以内の入院歴、薬剤（抗菌薬、抗がん剤、免疫抑制剤）の使用歴、患者さんの既往歴、胆管炎の治療の際に実施された処置の内容、血液と胆汁から検出された微生物を電子カルテより後ろ向きに調査します。</p>
試料／情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関には提供いたしません。
個人情報の取り扱い	この調査から得られた情報を感染症患者様の医療の発展にフィードバックしたいと考えています。具体的には、学会での発表や論文への投稿になります。一方、調査した結果は個人のものではなく、集団の平均としての情報が使用されます。そのため、個人を特定できるような情報が公表されることはありません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	愛知県小牧市常普請 1-20 小牧市民病院 電話：(0568) 76-4131 担当者：薬局 大西 克浩
備考	本研究への参加は自由です。この研究への参加を断った場合や、参加に同意され、研究が開始された後に参加を取りやめることとなった場合においても、患者様は一切不利益を被ることはありません。また、研究への参加を同意した場合であっても、随時撤回することができます。